

ふれあい型アンケートを終えて（各回答の傾向）

1. 在住小学校区

「実施場所が市中心部に限られたことなどにより、校区偏在がみられる。（彩都西が0であったことは、他地域と比較して、交通網の関連から彩都住民の市中心部への関わりの希薄さが伺える）」。

「また、メールでの回答が0、ファックスでの回答が1という結果が、今回のアンケート実施趣旨が、データ収集以上に市民の方と会話を行う「ふれあい」に重点を置いていたため、議会ホームページにアンケート内容を記載したが、積極的な発信をしていなかったことによると考えられる」。

Q1 市議会への関心程度

「大いに関心がある」、「まあまあ関心がある」が約70%を占めており、市議会に一定の関心をお持ちいただいていることが伺える。一方、「まったく関心がない」との回答は4%である。

Q2 議会だより

市の広報に年5回合冊で発行している議会だよりを「毎回読む」が37%、「時々読む」が38%、計75%の方が議会だよりを読んでいただいております、議会広報ツールとしての重要性を伺える回答となった。

Q3 議会HP、ネット中継

「見たことがない」が50%、「存在を知らない」が16%、計66%を占めた。

Q4 議会傍聴、議会報告会

「一度も傍聴・参加したことがない」が92%と大きな割合を占めている。

Q5 議会に期待する役割

「強く期待する」、「少し期待する」の合計では、「市民意見の市政への反映」が73%と一番多く、次いで「市政の監視・チェック」71%、「市政への政策提言」66%となっている。また、全ての項目において「強く期待する」、「少し期待する」が60%以上を占めており、議員、議会へ期待をいただいていることが示された。

Q6 議会からの情報発信

議会からの情報発信で望ましい方法を尋ねたところ、現在の市広報と合冊の「議会広報誌」が73%を占め、次点の「公共施設への掲示」35%をはじめ、他の手法と比較して圧倒的に優位であった。

HPやSNS等はそれぞれ20%~7%、地域拠点での議会報告会が21%という低い結果となった。

Q7 政策として市議会で取り組んでほしいこと

取り組みへの期待上位3テーマが「防災・防犯」49%、「教育」「道路・交通」ともに44%であるとともに、最下位テーマ「観光・産業」においても28%となっており、全テーマにおいての関心の高さが伺える結果となった。